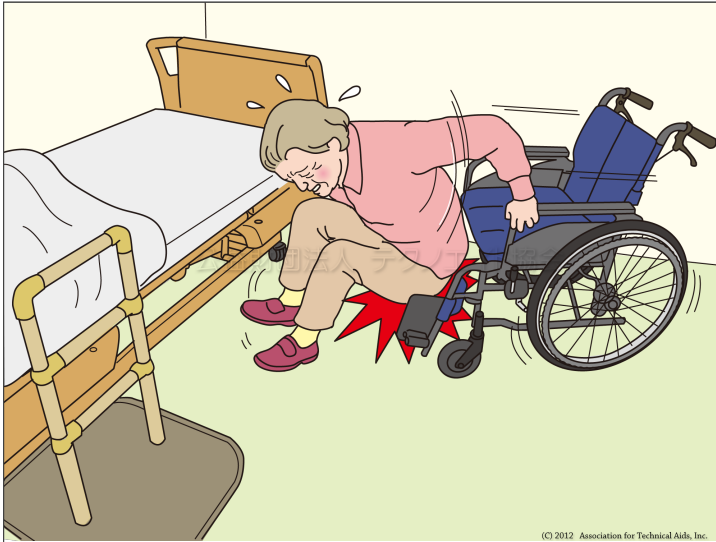


Case : 114

ブレーキをかけずに立ち上がろうとしたため、後方に転倒しそうになる

場面の説明

ベッドに移ろうと立ち上がったが、ブレーキをかけ忘れていたため、車いすが後方に移動し、転倒しそうになった



利用シーン	 移乗  立ち座り
主な利用場所	 寝室
介護保険の種目	 車いす
分類コード (CCTA95)	122106 (後輪駆動式車いす)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

かなりの頻度で発生しているヒヤリ・ハットで、骨折など大きなケガにつながるケースも多くあります。高齢者の中には、日ごろからブレーキをかけない移乗が常習化している人もいます。たとえ転ばなかったとしてもその行為自体が危険だとの認識をもって、ブレーキかけを習慣化するよう周囲の声かけも大切です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：ブレーキをかけなくても大丈夫だと思っていた
- 人：ブレーキをかけ忘れていた
- 管理：メンテナンス不足でブレーキが固くなっていた
- 管理：メンテナンス不足でブレーキが緩くなっていた

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 114

ブレーキをかけずに立ち上がろうとしたため、後方に転倒しそうになる

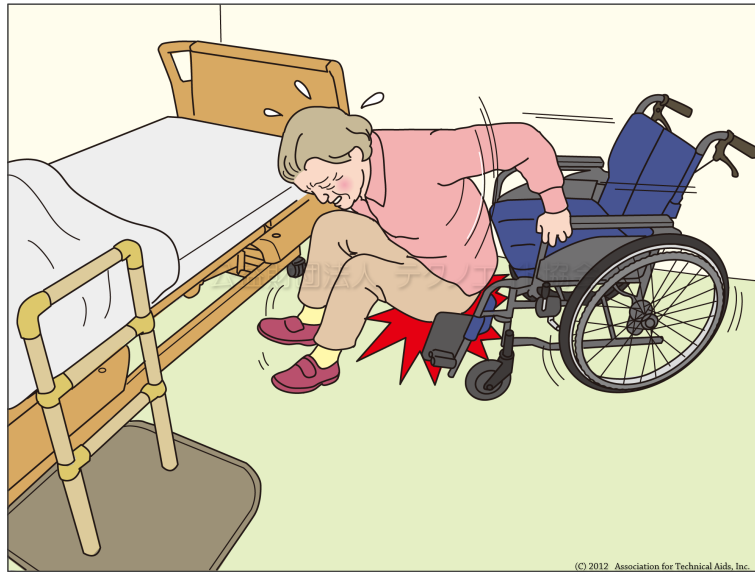
事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

ベッドに移ろうと立ち上がったが、ブレーキをかけ忘れていたため、車いすが後方に移動し、転倒しそうになった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ